



2019年10月

第292号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 並木 信一
副会長 花輪 宗命・久保田貞視
書記 多河敏子・長谷川あや子
会計 小口 多津子
直前会長 久保田貞視
担当主事 中里 敦
プリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 重子・多河 敏子

国際会長 Jennifer Jones (オーストラリア) 主題 Building today for a better tomorrow スローガン On the MOVE!! 「さあ動こう!!」
アジア太平洋地域会長 田中博之 (東京多摩みなみ) 主題 Action 「アクション」 スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」
東日本区理事 山田敏明 (十勝) 主題: 勇気ある変革、愛ある行動!
副題: みんなで力を合わせて、1・2・3
あずさ部部長 赤羽美栄子 (松本) 主題: あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために!
クラブ会長 並木信一 主題: 誰かに、何かに、必要とされたい!

10月例会プログラム

【創立25周年記念例会】

日時: 2019年10月12日(土) 13:30~17:00

会場: 高尾の森わくわくヴィレッジ

1. 記念例会

開会点鐘 八王子クラブ会長 並木信一
ワイズソング 一同
歓迎のあいさつ 会長 並木信一
来賓紹介 司会者
祝辞

前八王子市長・NPO 法人 八王子・台湾友好交流協会
理事長 黒須隆一 様
東京 YMCA 副総主事 星野太郎 様
あずさ部部長 (松本クラブ) 赤羽美栄子 様
東京サンライズクラブ会長 小山久恵 様
中央大学ひつじぐも OB 代表 柳原絵里子 様

祝電披露 IBC 台湾・高雄ポートクラブ会長 王素華 様
閉会点鐘 並木会長

2. 記念講演

「八王子市の国際友好交流都市締結と都市間交流」

前八王子市長・NPO 法人 八王子・台湾友好交流協会
理事長 黒須隆一 様

3. 懇親会 (1F ろんたん)

巻頭言

感謝 会長

並木 信一

イギリス・ロンドンで世界初のYMCAが創立されたのが1844年。時を経て、YMCA創立150年の記念の年、1994年の10月30日に東京八王子ワイズメンズクラブは設立されました。そして、今年、25周年を迎えることになりました。昨年来、この記念の年をどのように迎えるか、クラブ内で話し合ってきました。

設立20周年の2014年には、立川グランドホテルを会場に、クラブメンバーを含めて100余名の参加者を得て盛大に設立記念プログラムを催しました。あれからわずか5年、確かに四半世紀の区切りではあるが、あまり気張らず、通常例会

先月の例会ポイント (9月)

		BF ポイント	
在籍	16名	切手 (国内・海外)	450g
メン	13名	累計	450g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	81.2%	累計	0円
メネット	1名	スマイル	10,843円
ゲスト	4名	累計	22,473円
ビジター	5名	オークション	0円
ひつじぐも	0名	累計	0円

今月の聖句 (2019年10月)

父よ、あなたがわたしの内におられ、私があるの内にいるように、すべての人を一つにして下さい。
そうすれば、世は、あなたが私をお遣わしになったことを信じるようになります。

(新約聖書・ヨハネによる福音書 17:21)

をやや拡大するような気持ちで、日頃お交わりの深いあずさ部内のクラブにお声をかけさせていただき、60~70名の集まりを想定して記念例会を持ちましょうか。クラブメンバーの高齢化も進み、今後、30周年をどのように迎えられるかも分かりませんし。といった話し合いの上、久保田メンを執行委員長に25周年記念プログラムの準備を進めることになりました。内容は、通常の例会日を充てての記念例会の開催と記念誌の作成の2本立て。記念誌作成は、20周年記念誌も担当された茂木メンに再びご奉仕を願うということになりました。

記念例会のご案内、おさそいを致しましたところ、当初の計画を大幅に上回り、あずさ部内にとどまらないワイズ仲間や、中央大学YMCAの現役・OB、クラブの元メンバー等、90名を越える規模の記念例会となりました。また、八王子市と台湾・高雄市の姉妹都市を締結させた、前八王子市長、現在、NPO法人 八王子・台湾友好交流協会理事長の黒須隆一氏が記念講演をお引き受け下さることになりました。私たち、東京八王子ワイズメンズクラブが台湾・高雄ポートクラブとIBCを結んでいることも下敷きにしてのことです。

東京八王子ワイズメンズクラブをお心にかけ、記念例会に足をお運び下さる皆様、ご多忙中、貴重な時をお割き下さる黒須氏、全ての皆様に、また、全ての事柄に、あらためて、心からなる感謝を申し上げる次第です。

(次に、私たちに、この25周年記念例会に示されているような、ワイズメンズクラブにおける親しい交わり、求心的なエネルギーを、内にとどめるのではなく、いかにして、よりよい社会を生みだす働き、遠心的なエネルギーに転化させていくかが、問われてくるのでしょうか。)

YLF とイチヨウの木

小口多津子

9月6日~8日、YMCA山中湖センターでのユース事業のユースボランティアリーダーズ・フォーラムに参加してきました。今年は第32回、基調講演は「今、リーダーに求められること」、講師は大沼謙一氏と堀江和広氏でした。

このフォーラムはYMCAの各センターでボランティアリーダーとして所属する1,2年の新リーダーが対象です。センターは札幌、盛岡、とちぎ、埼玉、仙台、茨木、千葉、ぐんま、横浜と東京の江東、山手、南、西、からの41名とスタッフ(江東センター)とカウンセラーで7名、ワイズは21名で総勢72名でした。

東京駅からの大型バスの中でアイスブレイキングを終えて、到着後は1人のカウンセラーに8人の1グループで3日間を各棟で過ごします。

当然、3日間の間友達以上になって、1人1人が日頃のリーダー経験の中での悩み問題を、グループで解決してい

きます。センターの中を散歩していると、林の中で突然に歓声や拍手が起こります。輪になった中で、皆の話し合いで1人のリーダーさんの悩みが解決したのでしょうか。友が友に助けられる、YMCAの「つなぐ」が形になったと感じました。これはきっと一生の宝です。

最終日に各グループの報告会を聞きました。その中で、

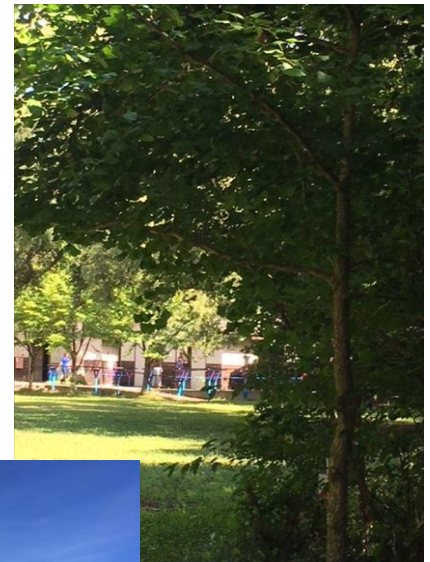
・あるグループは、リーダーとはブラインドマラソンに付き添う伴走者と同じである。

・またあるグループは、リーダーとは斜め上の存在である、つまり学校生活では縦の関係は先生であり、友達は横の関係であるから、センターで出会うリーダーは斜めの関係に位置すると。

・あるグループは、子供は自分が成長していることに気が付かない、だからそこを知らせてあげる。彼らが3日間に出した結論はすごいと思いました。

晴天に恵まれて、富士山もくっきり白鳥が沢山泳いでいた山中湖。私は暇な時間はセンターの中を散歩していました。気になるイチヨウの木の成長にはびっくりしました。20年前の八王子クラブ5周年記念として植樹した苗木は、当時本当に小さく背丈ほどでした。あれから20年・今は一人前に木陰を作っています。2本植えたうちのもう1本は後ろの大きに邪魔されていました。

いつかクラブで、この木の成長を確認に行きたいものです。スコップを持って楽しかったあの頃の、思い出を探しに。



勝沼ぶどうの丘例会

長谷川あや子

9月21日、勝沼ぶどうの丘で甲府21クラブの9月例会が開かれました。8月末、ぶどう棚の下の納涼例会が恒例でしたが、今年はホテルの会議室で第一部の例会、第二部の懇親会は甲府盆地や南アルプスを眺望するBBQテラスでという素晴らしい趣向でした。

八王子クラブから久保田さん、久保田メネット、小口さん、長谷川、高尾山グループから岡垣さん、舟山さん、西クラブの本川さんの7名で高尾駅から普通列車で勝沼ぶどう郷へ向かいました。

例会ではお二人の入会式がありました。赤羽あずさ部長、板村次期東日本区理事、宮内直前東日本区理事、駒田会員増強主査の立会いの下、厳かにそして温かい雰囲気で行われました。

甲府21クラブは今や破竹の勢いで会員増強してらっしゃいます。2019年8月末34名、9月の新入会員を入れると36名です！毎月のように入会者があり、東日本区トップの会員数の伸びかたです。

そんな活気のある甲府21クラブの皆さんが一丸となって勝沼ぶどうの丘例会を盛り上げて下さいました。新しい方、20年来のお付き合いの方、メネットの皆さんと共に初秋の風に吹かれながら広いBBQテラスでワインを飲み、焼き肉に舌鼓をうち、おしゃべりに花を咲かせているうちにあっという間に時間がたちました。

八王子クラブ25周年記念例会のアピールもしっかり致しました。甲府21クラブら何と12名の参加申し込みがありました。本当に楽しい一日でした。ありがとうございました。



第33回東京YMCAチャリティラン

長谷川あや子

9月23日、木場公園特設コースで第33回東京YMCAインターナショナル・チャリティランが行われました。危ぶんでいた台風は日本海側に抜けたものの、非常に蒸し暑く風の強い一日でした。

強風にあおられてアーチが飛ばされては大変なので、チャリティランの象徴のようなあの黄色の大きなアーチは「コドモラン」の時だけで、本番の競技はアーチなしでスタートしました。今年は50チームの参加があったようです。

西東京センターの走者と伴走者も元気よくスタートしました。視覚障がい者のチームが2チームあり応援に熱が入りました。昨年のチャリティランに寄せられた支援金は、障がいのある子どもたちのキャンプや宿泊体験、講習会など26のプログラムにおける参加費・研修補助費として用いられたそうです。

コースボランティアとして八王子クラブからは並木会長と長谷川が参加いたしました。多摩みなみクラブ、武蔵野多摩クラブ、サンライズの皆さんとご一緒いたしました。(写真は多摩みなみクラブの石田さんより)



9月例会卓話報告

長谷川あや子

9月例会は東京YMCA副総主事星野太郎さんをお招きし「YMCAの災害被災者支援活動—その視点と方法」について伺いました。

◎ YMCAはどんな支援をしてきたのか

- ・直近のもの…西日本豪雨災害
- ・大災害…阪神・淡路大震災、新潟・中越大震災・

東日本大震災

- ・過去の災害…関東大震災、伊勢湾台風

〈直近〉

- ・2018年6～7月 岡山・広島に大雨の甚大な被害。

YMCA瀬戸内が窓口となり復興ワークを継続的に行った。広島YMCAは「子どもたちの夏の思い出を災害だけにしない」と児童たちのためにキャンプを計画し全センターに呼びかけリーダーを派遣した。

全国から2450万円の募金が集まった。東京Yでは7月末、都内6か所で街頭募金。200人以上が参加。

〈過去の災害〉

- ・今から96年前、1923年9月1日 関東大震災

9月2日に神田会館に20人の職員が集まり、まず熱心に祈りその後救援活動を始めた。神戸YMCAは賀川豊彦を中心に組織的に活動した。北米YMCAから200万円の募金があった。(現在に換算10億円)

- ・1959年9月26日—伊勢湾台風

名古屋YMCAが中心になって救援活動。キリスト教医科連盟と協同し巡回診療をする。YMCA以外の団体とも協力し支援にあたった。

〈大災害〉

- ・1995年1月17日 阪神・淡路大震災

神戸YMCAを中心に全国YMCAが支援。行政、地域、NPO、全国各地からのボランティアのコーディネート、マッチングさせていく作業をYMCAが担い力を発揮した。また余島キャンプに関わる人々の活躍が目立ったがキャンプのノウハウが役立った。ボランティア元年という言葉が生まれ日本中に広まり関心を集めた。全国Yでの募金は3億3千万円。

- ・2004年 新潟・中越大震災

YMCAのない場所での支援はYMCAにとって初めての経験だった。星野さんは派遣され、市役所に届いた満杯の物資を除雪車格納庫に、2トントラック30台で移動、一日で作業を完了した。

- ・2011年3月11日 東日本大震災

今までにない広いエリアのため盛岡Yは宮古に、仙台Yは石巻にと拠点を分散させてスタッフもリレーした。ワイズ

の働きは素晴らしかった。妙高高原ロッジを拠点とし物資を集め磐越道経由で仙台YMCAへ。福島への支援は子どもが安全な場所で外遊びをしてもらいたいと、キャンプを400回近く行っている。

- ・2016年4月16日 熊本地震

リレー形式で途切れることなく応援体制をとった。FBに正しい情報をリアルにアップ。今までになかったツールが大きな特徴。

〈まとめ〉

幅広い支援が総合的にできる団体はあまりないがYMCAはどんな役割でも中心的役割を担ってきた。

イエス・キリストが示された愛と奉仕の実践が支援活動のバックボーンになっている・・・隣人に仕えなさい—弱っている人、困っている人があなたの隣人です。前向きに、善意の気持で繋がりたい—これが被災者支援です。

※被災者支援に深く関わってきた職員ではないので・・・とおっしゃった星野さんですが、本当によくまとめてお話し下さり感銘を受けました。



9月例会卓話者 星野太郎氏

創立25周年記念例会・懇親会の部

懇親会 (1F ろんたん) 15:30~17:00

司会: 茂木 稔

祝辞: アジア太平洋地域会長 田中 博之 様

食前の感謝

長谷川 あや子

乾杯: 東京武蔵野多摩クラブ会長 大輪 匡史 様

出席者紹介

司会者

アッピール

感謝の言葉: 設立25周年記念例会実行委員長

久保田 貞視

西東京センター便り

YMCA 西東京センター 館長 中里 敦
25 周年おめでとうございます。”八王子クラブが誕生して
25 周年という節目に担当主事として関わられることを嬉しく思
います。25 年前の私は山中湖センターのスタッフで、山中
湖センターでお会いしていたのを思い出します。それから
21 年経った 2015 年の 11 月から担当主事となりました。それ
まで、担当主事として関わったことがなかったので、ワイズ用
語や役割など戸惑うことが多くあるなか、まず思ったことは、
信条にもあるとおり、出席第一です。YMCA のプログラムが
優先になってしまうこともありますが、例会やプログラムには
できるだけ参加をして一緒に時間を過ごす中で、ワイズのこ
と、メンバーのことを少しでも理解できればと思いました。役
割が十分果せているか不安に感じるところはありますが、私
にとっては居心地のよい場所となっています。

八王子クラブは西東京センターをサポートチームのメンバ
ーとして会員活動を支え、バザー、クリスマス、チャリティーラ
ンなどの行事ではお手伝いだけでなく金銭面での支援もい
ただいています。また、20 回を数えるチャリティーコンサート
では、500 万円を超える募金を続けています。この活動は地
域のタウン誌にも紹介されました。東日本大震災以降、街
頭募金も続けられています。ワイズとしての活動ですが、募
金が YMCA を通して被災者支援につながったり、ワイズの
活動を通して YMCA の働きを社会に知ってもらう機会にもな
っていると感じています。『YMCA を支援し、YMCA と共に
歩む運動(パートナー)をするクラブ』として、西東京は支え
られ、地域に根ざす活動も続けられています。続けることへ
の意義や価値を大切にしながら、これからも一緒に活動に
取り組んで行けたらと願います。

中大ひつじぐも便り

中央大学 2年 戸加里 春樹
私は 9 月 29 日に八王子生活実習所で行われたわたぼう
し祭に参加しました。

わたぼうし祭は毎年 9 月下旬に八王子生活実習所で行
われているお祭りです。今年は、1 年生 2 名、2 年生 2 名、3
年生 1 名の計 5 人が参加しました。私は今年で 3 年連続の
参加となりました。

わたぼうし祭は主に屋台やイベントのお手伝いを行いま
した。私は 1 年生のときは焼きそばの屋台、2 年生は焼きそ
ばの屋台のお手伝い、またホールで輪投げなどの遊びをす
る子供たちのお手伝い、3 年生の今年は案内の配布をし
ました。毎年仕事内容が異なりましたが、いずれも楽しく活
動をすることができました。

3 年間で 1 番楽しかったことは地域の方や障がい者の方
や子供たちと関わることができたことです。私は現在 1 人暮
らしなので、地域の方と関わる機会が一切ありません。だか
ら、こういう機会でも地域の方の良さを知ることができて嬉し
かったです。障がい者の方は、この 3 年間で接し方が大きく変
わってきました。最初は戸惑い、どう接するかわからず距離
を置いてしまいましたが、今は積極的に話しかけることが
できるようになりました。子供たちへの接し方も大きく変わ
りました。私はもともと子供が苦手に関わることがあまり好
きではありませんでした。しかし、2 年生で子供たちのお手
伝いをしたときに、すごく楽しくて、子供とより関わりたい
と思うようになりました。

このように、私は 3 年間を通じて、人間的にも成長する
ことができました。これからは私が成長を与えるような人間
になっていきたいです。

感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

今月の聖句によせて(2019 年 10 月)

ワイズメンズクラブ東日本区の綱領は、「YMCA と共に、よりよい世界の実現のために努力すること」とうたっています。この、YMCA の正章の中心には開かれた聖書がおかれ、今月のブリテン 1 ページ下の聖句、「新約聖書ヨハネによる福音書 17 章 21 節」が示されています。国家、民族、人種、宗教の隔たりを越え、世界の人が一つになり、平和の内に共に生きる、という、YMCA のモットーを表現しています。YMCA が共通に覚える、記念日が年に 2 日あります。その一日は、「6 月 6 日」で、「YMCA 設立記念日」、とされています。ロンドンの 1 室に 12 人の青年が集まり「YMCA」を発足させたのが、1944 年 6 月 6 日でした。但し、「Young Men's Christian Association (YMCA)」と名付けた日は定かではなく、少し後の 7 月 7 日ともされます。この 12 人の中心にいたのが、ジョージ・ウィリアムズで、6 月 6 日の会合は、彼の部屋で開かれました。

記念日のもう一日は、「10 月 11 日」です。ジョージ・ウィリアムズの誕生日で、「YMCA 記念日・創立者誕生日」とされています。ジョージ・ウィリアムズは 1821 年 10 月 11 日の生まれで、YMCA 設立時は 22 歳でした。(1905 年に永眠)。YMCA はその後、世界大の運動となりましたが、ちなみに、パリで第一回の世界 YMCA 大会が開かれ、世界の YMCA の結合の基準とされる「パリ基準」が採択されたのが、1855 年 8 月 22 日で、ロンドンのジョージ・ウィリアムズの部屋で 12 人が集まり YMCA が発足してから 11 年後のことです。日本で最初の YMCA である東京 YMCA の創立は、1880 年(明治 13 年) 5 月 4 日のことですから、ロンドンで YMCA が創立されてから 36 年後のことになります。今年は、YMCA 創立 175 周年となり、記念の行事がロンドンで行われました。私たちの東京八王子ワイズメンズクラブは 1994 年の設立ですから、世界で YMCA が誕生してから 150 年の記念の年にあたっていました。

並木信一

報 告

2019年9月第2例会

- ▼日 時：2019年9月26日(土) 18:00~20:00
- ▼会 場：北野事務所小会議室(担当B班)
- ▼出席予定者：A. 小口・中里・長谷川 B. 久保田・並木・福田 C. 茂木・山本・多河 計9名
- ◇ 9月第一例会(担当A班)
 - ・日 時：9月14日(土) 18:00~20:00・会場：北野事務所・出席率 81.2%・スマイル 10,843円
 - ・出席者：長谷川、小口、中里、古市、並木(真)、久保田、花輪、福田、並木、並木メネ、山本、茂木、大久保、多河、
 - ・*ビジター 大田勝人(町田スマイリング)、本川悦子、篠原文恵、吉田明弘(以上東京西)
 - ・星野太郎(卓話者・東京むかひ)
 - ・*ゲスト 酢屋善元(休会中)、川村 拓、水口愛美、池田情苑(以上中大ひつじぐも)
 - ・卓話 「YMCAの災害被災者支援活動—その視点と方法—」 星野太郎 東京YMCA副総主事
- ◇ 東京YMCAチャリティラン
 - ・日程 9月23日・場所 木場公園・八王子クラブよりボランティア参加、長谷川さん、並木、
 - ・甲府21例会 9月21日(土)当クラブ 長谷川さん、小口さん、久保田メン、メネットさんが参加
- ◇ 報告・協議
- 八王子クラブクラブ設立25周年記念例会(10月第一例会)
 - 日時：10月12日(土) 13:30~17:00(受付13時半)
 - クラブメンバー集合時刻 12時
 - 会場：高尾わくわくビレッジ研修室2
 - 会費：3,000円 参加予定者数：90余名
 - ・ 10月第2例会(担当B班)
 - 日時：10月26日(土) 18時~20:00 於 北野事務所
 - ・ 11月第1例会(担当C班)
 - 日時：11月9日(土) 18時~20時 北野事務所大会議室 中大ナイト(中大Yひつじぐもがプログラムを担当)
 - ・ 11月第2例会(担当C班)
 - 日時：11月30日(土) 18時~20時 北野事務所
 - ・ 12月クリスマス例会(担当A班)
 - 日時：12月21日(土) <17時30分~21時>
 - 会場：大学セミナーハウス
 - ・ その他(YMCA・他クラブ・部・区等)
 - ・ 富士山納涼例会 9月28日~29日 久保田・長谷川
 - ・ 東京江東クラブ60周年記念祝会 10月5日(土) 17時~ 於：亀戸 久保田、長谷川 参加
 - ・ あずさ部会 10月19日(土) 13時~17時 於 松本市深志斎館 参加予定 久保田、長谷川、小口、花輪、並木
 - ・ 西東京YMCA秋まつり 11月4日(月)

YMCA医療福祉専門学校

- ・ 高雄港クラブ創立20周年慶祝大会2020年3月7日(土)

絹の道デイサービスセンター ボランティア活動

【報告】9月4日(水) 14:00~15:00 手工芸

参加者：赤羽、石井、色川、久保田、下重、山口、山中、茂木

【予定】10月9日(水) 14:00~15:00 手工芸

*BF2019年9月報告 プルタブ報告

切手：国内 0g

海外 0g 累計 350g

プルタブ 0g

わくわくヴィレッジ便り 10月号

館長 古市 健

10月になってもなお、1日2日は東京も30度を超える真夏日となり、季節的に残暑と呼んで良いのか戸惑うような暑さを体験しておりますが、流石に朝晩は過ごしやすい気候となり、着実に季節が進行していることもまた感じる日々となっております。

わくわくビレッジで毎日のように蝉時雨を聞いていたのは、つい昨日のこのようですが、桜の木々の葉も色づき、落葉も始まっており、本格的な秋の到来も間もないものと思われまます。

9月も終わりましたが、おかげ様をもちまして今月もまた、3,000名を超える多くのおお客様にご宿泊をいただくことができました。多くのご家族や各種スポーツの団体が多かった夏の時期が終わり、例年通り今月は多くの学校教育団体のご宿泊がありました。

宿泊団体のおよそ3分の1が小学校を中心とした学校教育団体のご宿泊で、野外活動やお勉強に加え、当館の用意した様々なプログラムも多く体験いただくことができました。

また、宿泊利用ではありませんが、近隣の中学校が課外授業の「お仕事インタビュー」のために来館、私が代表としてインタビューを受け、当館の成り立ちや年間の宿泊者数などについて、詳しく説明し、その後には館内を1時間程度かけてゆっくりと案内もいたしました。緊張しながらもしっかりとインタビューをする中学生の初々しくも真摯な様子に、何だか私も初心を振り返る良い機会を与えられたような気がいたしました。

当館は今、消費税の増税対応に追われています。準備はしっかりと行なってきたものの、細かな調整が必要な部分もあるため、お客様にご迷惑をおかけしないよう

10月の誕生祝い!

小口多津子さん 10月4日

辻 久子さん 10月29日